

1. 科目名 (単位数)	国語科指導法 (書写を含む) (2単位)	3. 科目番号	SJMP2391
2. 授業担当教員	小本 そのみ		SJMP2291
4. 授業形態	講義 演習 グループ討議 発表 実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>国語科は全教科の基礎基本であり、中心的教科である。そのため、人間形成や社会力及び創造力の基礎となる国語科の指導者として必須の知識への理解と実践力の基礎を育てるのがねらいである。そこで本講義では、学習指導要領に示された〔思考力、判断力、表現力等〕の内容である「A話すこと・聞くこと」領域、「B書くこと」領域、「C読むこと」領域に基づき、各学年に応じた目標、内容及び指導法についての理解と実践力を育てるようにする。</p> <p>特に、指導法に関しては単なる理解ではなく、発表や討論、模擬授業等を通して指導技術の習得を図る。また、教材や学習活動の開発創造を大切にす意欲的態度を育てる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校学習指導要領国語について概観し、目標や内容について説明できるようになる。 2. 各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになる。 3. 小学校の具体的な国語教材を基に、教材研究、指導案作成、模擬授業などを行い、小学校国語科の学習指導の実際を体験的に身に付ける。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>小学校国語科の学習指導の実際を体験的に身に付けるための一環として、以下を課題とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導案の作成 (修正・加筆) ○模擬授業の準備 ○模擬授業の記録・まとめ 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 国語編』東洋館出版、2018。</p> <p>【参考書】 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校国語】』東洋館出版社、2020。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校国語科の目標や内容について説明できるようになったか。 2. 各領域に関する指導事項を理解し、言語活動を通してそれらを指導していくことについて説明できるようになったか。 3. 小学校国語科の学習指導を行う上で必要な教材研究、指導案作成、授業実践等の知識・技能を体験的に身に付けることができたか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業態度 50%</p> <p>模擬授業等 30%</p> <p>期末試験 20%</p> <p>上記のほか、大学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の条件である。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>いろいろな教科や領域で言葉を通して教育が行われますが、国語科では、全ての教科の基盤となる言語の教育を進めます。言葉への自覚を高め、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を、言語活動を通して育成しなければなりません。したがって、受講に当たっては、受講生自らが、言葉に対して鋭敏になって言語感覚を磨こうとする真摯な態度、また、進んで情報を集め、思考力・判断力・表現力を駆使しながら子どもの学びを助ける工夫・手立てを考えようとする積極的な姿勢を大切にし、本科目の言語活動に臨んでほしいと思います。</p> <p>* 座席は指定とします。</p>		
13. オフィスアワー	授業時間の前後。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 国語科の目標 (教科、学年) 及び内容の構成について理解する。	事前学習	自分が受けた国語科教育について振り返り、まとめる。
		事後学習	教科書 (pp. 11~16) を熟読し、国語科の目標及び内容について理解を深める。
第2回	学習指導案の作成の仕方を理解する。	事前学習	配付された学習指導案例を読み、どのような内容が書かれているのかを考える。
		事後学習	学習指導案を作成する手順や書くべき内容について整理し、理解する。
第3回	「A話すこと・聞くこと」領域の指導について、具体的な教材を基に、学年目標、指導事項、言語活動等の関連を考え、単元の指導計画を構想する。	事前学習	教科書 (pp. 28~31) を読み、「A話すこと・聞くこと」領域の指導事項や言語活動例について知る。
		事後学習	具体的な教材を基に、単元全体を見通した指導の在り方について理解する。
第4回	「A話すこと・聞くこと」領域の指導について、指定された教材を基に、一時間の学習目標と評価を構想し、学習指導案を作成する。また、教材の工夫、情報機器の活用等を踏まえた授業展開を構想する。	事前学習	指定された教材について、単元全体を見通し、そのうちの一時分の授業の展開 (本時の展開) を構想する。
		事後学習	学習指導案 (本時の展開) の作成方法を理解する。
第5回	「A話すこと・聞くこと」領域の指導について、第4回で作成した学習指導案を基に模擬授業を実践し、検討 (評価) する。	事前学習	作成した学習指導案を基に、授業実践を構想する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、自身で作成した学習指導案の不足部分を補う。
第6回	「B書くこと」領域の指導について、具体的な教材を基に、学年目標、指導事項、言語活動等の関連を考え、単元の指導計画を構想する。	事前学習	教科書 (pp. 32~35) を読み、「B書くこと」領域の指導事項や言語活動例について知る。
		事後学習	具体的な教材を基に、単元全体を見通した指導の在り方について理解する。

第7回	「B書くこと」領域の指導について、指定された教材を基に、一時間の学習目標と評価を構想し、学習指導案を作成する。また、教材の工夫、情報機器の活用等を踏まえた授業展開を構想する。	事前学習	指定された教材について、単元全体を見通し、そのうちの一時分の授業の展開（本時の展開）を構想する。
		事後学習	学習指導案（本時の展開）の作成方法を理解する。
第8回	「B書くこと」領域の指導について、第7回で作成した学習指導案を基に模擬授業を実践し、検討（評価）する。	事前学習	作成した学習指導案を基に、授業実践を構想する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、自身で作成した学習指導案の不足部分を補う。
第9回	「C読むこと」領域（説明的な文章）の指導について、具体的な教材を基に、学年目標、指導事項、言語活動等の関連を考え、単元の指導計画を構想する。	事前学習	教科書（pp. 36～39）を読み、「C読むこと」領域（説明的な文章）の指導事項や言語活動例について知る。
		事後学習	具体的な教材を基に、単元全体を見通した指導の在り方について理解する。
第10回	「C読むこと」領域（説明的な文章）の指導について、指定された教材を基に、一時間の学習目標と評価を構想し、学習指導案を作成する。また、教材の工夫、情報機器の活用等を踏まえた授業展開を構想する。	事前学習	指定された教材について、単元全体を見通し、そのうちの一時分の授業の展開（本時の展開）を構想する。
		事後学習	学習指導案（本時の展開）の作成方法を理解する。
第11回	「C読むこと」領域（説明的な文章）の指導について、第10回で作成した学習指導案を基に模擬授業を実践し、検討（評価）する。	事前学習	作成した学習指導案を基に、授業実践を構想する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、自身で作成した学習指導案の不足部分を補う。
第12回	「C読むこと」領域（文学的な文章）の指導について、具体的な教材を基に、学年目標、指導事項、言語活動等の関連を考え、単元の指導計画を構想する。	事前学習	教科書（pp. 36～39）を読み、「C読むこと」領域（文学的な文章）の指導事項や言語活動例について知る。
		事後学習	具体的な教材を基に、単元全体を見通した指導の在り方について理解する。
第13回	C読むこと領域（文学的な文章）の指導について、指定された教材を基に、一時間の学習目標と評価を構想し、学習指導案を作成する。また、教材の工夫、情報機器の活用等を踏まえた授業展開を構想する。	事前学習	指定された教材について、単元全体を見通し、そのうちの一時分の授業の展開（本時の展開）を構想する。
		事後学習	学習指導案（本時の展開）の作成方法を理解する。
第14回	C読むこと領域（文学的な文章）の指導について、第13回で作成した学習指導案を基に模擬授業を実践し、検討（評価）する。	事前学習	作成した学習指導案を基に、授業実践を構想する。
		事後学習	模擬授業を振り返り、自身で作成した学習指導案の不足部分を補う。
第15回	領域ごとに[知識及び技能]の内容と関連させた指導の在り方について振り返り具体的な教材を基に確認する。また、書写指導について、基本点画を中心に指導の実際を学習し、実践意欲を高める。	事前学習	教科書（pp. 17～27）を読み、[知識及び技能]の内容を確認する。
		事後学習	具体的な教材を基に、[知識及び技能]の内容と関連させた指導の方法を整理し、理解する。また、硬筆、毛筆による書写を实践し、児童にとっての難しさを理解した上で、指導の在り方を構想する。
期末試験			